

めくにかうかん かんしよてんらい 400ねんさい
野國總管
甘藷伝来400年祭



2005年
野國總管甘藷伝来400年祭
事業計画



野國總管甘藷伝来400年祭実行委員会

野國總管 甘藷伝来400年祭 事業計画

目 次

. 総 論

1. 開催の意義	1
2. 開催の目的	
3. 基本方針	2
4. キャッチフレーズ	
5. ロゴ・キャラクター	

. 事 業 計 画

1. 開催日程	3
2. 基本事業構成	
3. 催事計画	7
4. 会場計画	12
5. プレイベント計画	

. 推 進 計 画

1. 運営計画	13
2. 広報宣伝計画	15
3. 交通・輸送・警備・宿泊計画	17
4. 財政資金計画	18
5. 事業スケジュール	19

. 参考資料	20
--------	----

総論

1. 開催の意義

嘉手納町が生んだ偉人「野國總管」が、西暦1605年に甘藷（愛称：野国いも）を中国福建省からわが国に伝えた。甘藷は、嘉手納町をわが国における発祥の地として全国へ伝播し、飢饉や戦中戦後の食糧難から幾多の人々の命を救い、大きな貢献を果たしてきた。近年、甘藷は健康食品としても注目され、健康に対する機能性が大きく広がろうとしている。野國總管は、まさに沖縄県民のみならず、日本の全国民がその功績を忘れてはならない社会の維持発展に尽くしてきた先達のひとりです。

2005年で甘藷伝来400年を迎える。この歴史的な節目を記念し、野國總管の遺徳を永く後世に伝え、甘藷の発展を図るため、「野國總管 甘藷伝来400年祭」を挙行し、日本における甘藷発祥の地・嘉手納を全国に広く発信する。



2. 開催の目的

1. 野國總管と甘藷発祥の地・嘉手納の発信
野國總管と甘藷発祥の地・嘉手納を全国に発信し、その定着化を図る。
2. 野國總管の遺徳と、「進取の精神」「社会貢献」「国際性」の継承、発展
嘉手納町のまちづくりの基本として、野國總管の遺徳と、「進取の精神」「社会貢献」「国際性」を継承、発展させ、町の活性化を図る。
3. 甘藷の発展
甘藷の発展を図るため、健康に対する機能性に優れている甘藷の可能性を大きく広げ、その普及を図り、町の産業振興に資する。
4. 甘藷の里帰り与交流
嘉手納町から旅立ち日本各地で大きく成長し寄与してきた甘藷が、発祥の地・嘉手納へもどり、わが町を新たな発信源としてそれぞれの産地、人々との交流を図る。

3. 基本方針

「野國總管 甘藷伝来400年祭」は、基地の町としてのイメージが強いわが町を、甘藷発祥の地・嘉手納として、野國總管の遺徳と甘藷の健康に対する機能性、加えて歴史、文化などわが町の新しい魅力を全国に発信する手段とする。

そのため、一過性の事業ではなく、「野國總管生誕の地・嘉手納」「甘藷発祥の地・嘉手納」を表現し、定着を図るための発想、運営をしていく。まつりを県内外からかつてない規模の集客を目標とし、経済振興の可能性を広げる。まつりを契機として新しい資産を創造すると共にその継承、発展を通し、町の活性化につなげるものとする。野國總管宮についても新しい魅力を創造するものとする。多くの人の善意により寄付された泡盛についてはその有効活用を図る。まつりの運営に当たっては、町民、企業、行政等が協働し、沖縄における代表的なまつりとして定着することを目指す。

については、次の方針に基づき具体的に事業を実施する。

野國總管、甘藷発祥の地及び甘藷を表現する事業
 地域の歴史文化など資産の創造、継承、発展につながる事業
 集客効果があり、地域の振興に資する事業
 地理的特徴を活かした事業

4. キャッチフレーズ

2004年2月に公募を行い、次のとおり決定。

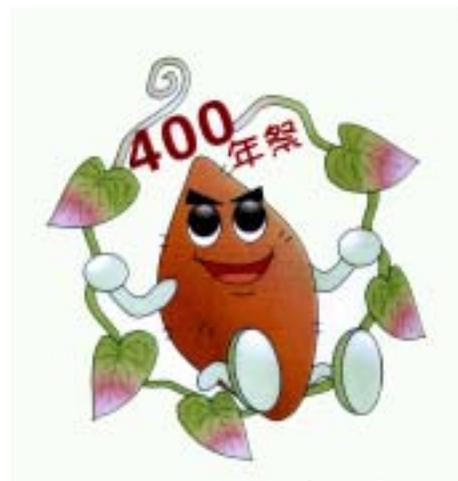
「甘藷と共に未来にはばたけ嘉手納町」

5. ロゴ・キャラクター

ロゴ・キャラクターについては、公募の上、次のとおり2003年9月に決定。
 キャラクターの名称については、2004年2月に公募を行い、次とおり決定。

キャラクター名称「いもっち」

キャラクター



名称 **いもっち**

事業計画

1. 開催日程

野國總管甘藷伝来400年祭の開催日は、次の理由から2005年9月30日（金）10月1日（土）10月2日（日）を中心として実施する。

野國總管まつりとして定着している。

季節的にもすごしやすく、比較的天気も安定している。

県外の観光客も比較的多く、その集客も見込める。

甘藷の収穫時期である。

小中学校では秋休み期間中で野國總管宮周辺が活用しやすい。

10月の野國總管甘藷伝来400年祭を成功に導くため、2005年1月から10月までを「野國總管甘藷伝来400年祭年」として位置付け、時期に応じた適切な事業を実施していく。

2004年は、野國總管甘藷伝来400年祭の前年であり、従来の野國總管まつりをイベントと位置付け実施する。

2. 基本事業構成

基本的な事業構成は、

普及啓発事業、

甘藷発展事業、

環境整備事業、

寄贈泡盛活用事業、

野國總管宮例祭、

イベント事業、

関連イベント事業、

共催・協賛関連事業、

資金造成事業、

とする。

普及啓発事業

野國總管及び甘諸を県内外にアピールできる事業として次のことを行う。

子供向けの副読本の制作

記念誌編纂部会で作成中。2004年4月発刊する。

町広報への掲載

記念誌編纂部会員により2002年3月号より掲載。2005年9月号まで、全42回掲載見込み。

記念誌の発刊

記念誌編纂部会により2005年発刊する。

野國總管・甘諸フォーラムの開催

野國總管及び甘諸について、研究者及び関係者によるフォーラムを開催する。

野國總管・甘諸博覧会の開催

野國總管及び甘諸に関する資料を展示する。

イメージソングの募集と記念CDの制作

イメージソングを募集し、決定した歌と共に野國總管音頭や芋の時代などの既存の歌を、嘉手納町にゆかりの古謝美佐子やアコースティックMなどのミュージシャンにより、嘉手納町マルチメディアセンターを活用し制作する。

紙芝居の作成

野國總管に関する紙芝居を制作する。

フラッシュによる野國總管物語の制作

動画ソフトのフラッシュにより、野國總管物語を作成し、ホームページで公開する。

映像の作成(野國總管物語、甘諸伝来物語、野國總管クイズ等)

野國總管物語、甘諸伝来物語、野國總管クイズ等に関する映像を制作する。

野國總管大賞の授与

野國總管甘諸伝来400年祭を記念して、「野國總管大賞」を設け、進取の精神部門、国際性部門、社会貢献部門、甘諸部門などの部門において顕著な実績を残したと評価される人を表彰する。



甘藷発展事業

健康食品として注目されている甘藷の健康に対する機能性を広げ、本町の産業振興に資する事業として次のことを行う。

甘藷物産市の開催

全国各地の甘藷及び加工品の展示、販売を行う。

甘藷品評会

全国の甘藷栽培者に呼びかけ、甘藷の品評会を行う。

甘藷料理コンテストの開催

甘藷料理に関するコンテストを行う。

甘藷を活用した製品の開発と普及

町内企業や生活改善グループなどにより、新しい甘藷製品を開発し、その普及を図る。

甘藷栽培法の開発と普及(プランターによる甘藷栽培法など)

溶液栽培やプランターでの栽培が可能で宇宙作物としても注目されている甘藷の栽培法の開発とその普及を図る。

環境整備事業

400年祭を開催するにあたり、野國總管そして本町を県内外にアピールし、その定着化を図るため、次のような環境の整備を行う。

野國總管宮の整備

植栽、ライトアップ、手洗いの設置、獅子小屋の改造等、野國總管宮のイメージアップにつながる整備を行う。

野國總管のお墓の整備

墓庭の舗装など野國總管のお墓周辺の整備を行う。

兼久海浜公園(まつり主会場)の整備

駐車場の確保、舞台の整備、歩行者と車両の分離など会場の整備を行う。特に安全面については十分に配慮する。

野國總管坐像の道の駅かでの移設

現在、商工会館にある野國總管坐像を、多くの人の目に触れる道の駅かでの構内へ移設する。



嘉手納の玄関口の整備

東口は野國總管坐像、南口は野國總管立像、北口は商工会歓迎塔、それぞれをライトアップし、宣伝用の広告塔を設置する。

野國總管甘藷伝来400年記念碑の建設

野國總管甘藷伝来400年祭を記念し、記念碑を建設する。

護岸へ野國總管物語の壁画の制作

河川、海岸沿いの護岸に野國總管物語の壁画を制作する。制作に当っては子ども達を活用する。

町内美化活動

町内外のお客様をあたたかく迎え、本町のイメージアップを図るため、町内の美化活動を行う。

寄贈泡盛活用事業

多くの人の善意で集められた泡盛を有効に活用するとともに、次の時代への資産として継承するため、次の事業を行う。

百年古酒作り

寄贈泡盛の一部を百年古酒として、貯蔵庫を作り保存する。寄贈者名を壁等に記載する。保存した泡盛は毎年のもつりにおいて1本づつウサンデーしその年の酒を補充し保管することにより、450年、500年へと継承していく。

振舞い酒

まつりの参加者に寄贈泡盛を振舞う。会場内に泡盛のカクテルコーナーを設ける。

400年祭記念酒の配布

400年祭記念酒を作り、お宮で記帳していただいた方及びまつり関係者に記念品として配布する。また、記念酒の委託販売及び本町にゆかりの人の製作によるガラスや陶器などの活用も考慮する。

酒瓶のオブジェとしての活用

寄贈泡盛の酒瓶については、まつりにおいてオブジェとして活用する。



野國總管宮例祭

野國總管の遺徳を称える祭事

イベント事業

野國總管甘諸伝来400年祭を記念し、実行委員会が主催するイベント。まつりの中心としてシンボルとなるメインイベントと、それを補完するサブイベントで構成する。

関連イベント事業

野國總管甘諸伝来400年祭を記念し、実行委員会以外の団体が主催し、まつり期間中に行うイベント。まつりを広がりのある魅力的なものにするため、企業及び団体に積極的に呼びかける。

共催・協賛関連事業

野國總管甘諸伝来400年祭を記念し、他の団体・機関と共催及び協賛で行うイベント。2005年に町内で行われる嘉手納ハーリー、エイサー広場等のイベントは協賛事業として位置付けし実施する。嘉手納町文化協会により2005年2月開催予定の組踊「孝行の巻」の公演は共催事業として実施を検討する。

* 町内団体主催イベント

比謝川鯉のぼりフェスタ	2005年4月29日(金)
嘉手納ハーリー	2005年6月12日(日)
You・遊・比謝川河童まつり	2005年7月17日(日)
新町エイサー広場	2005年8月20日(土)

* 町外団体主催イベント

2005年おきなわマラソン(了承済み) 2005年2月

NHKのど自慢

その他

資金造成事業

資金の造成及びまつりの広報宣伝を図るため、ゴルフコンペ、資金造成芸能公演などを行う。

3. 催事計画(主要イベント)

開催の主旨、目的及び基本方針に基づき時期に応じた適切な催事を実施する。

新春カウントダウン

< 2005年1月1日(土) >

甘藷伝来400年祭の年をアピールするため、野國總管宮で新春カウントダウンを行う。

100日前イベント

< 2005年6月22日(水) >

甘藷伝来400年祭の100日前に、まつりへの機運を盛り上げるためにイベントを行う。

野國總管・甘藷フォーラム

< 2005年8月 >

県内外から研究者、甘藷栽培者などの関係者を招聘し、フォーラムを開催する。まつりのプレイベントとして行う。

野國總管例祭

< 2005年9月30日(金) >

野國總管の遺徳称える祭事として行う。

野國總管甘藷伝来400年祭記念式典

< 2005年9月30日(金) >

野國總管甘藷伝来400年祭を記念する式典を県内外の関係者の出席により執り行う。



メインイベント

2005年9月30日～10月2日

野國總管甘諸伝来400年祭を記念し、まつりの中心となり、シンボルとなるイベントとして次の催しを行う。

花火大会

400年祭を記念し、4,000発の花火を打ち上げる。併せてレーザーなど特殊効果の活用も検討し、沖縄でも有数の花火大会とする。打ち上げ場所については、海上を中心に米軍基地の使用も検討する。



道ジュネー

400年祭を記念し、野國總管宮から兼久海浜公園までパレードを行う。パレードは甘諸偉人行列、音楽隊などのほか、町内の各種団体や企業も旗頭など趣向を凝らし参加、町外の団体、企業へも広く呼びかけ、まつりの顔として町外からの集客につながるイベントとして実施する。



奉納全沖繩角力大会

400年祭を記念し、350年祭の中心イベントとなり、400年祭にむけて復活した沖縄の伝統スポーツである角力大会を行う。個人別チャンピオン大会と子ども部門、職域対抗などの部門を設け、県内に広く呼びかけ実施する。



サブイベント

2005年9月30日～10月2日

まつりの中心となるメインイベントを補完するイベントであり、次の事例のような多くのイベントが考えられる。実施にあたっては、まつりの目的や基本方針に基づき費用、効果、時間、会場などを考慮の上、選択し実施する。

サブイベントの事例(参考資料参照)

奉納伝統芸能祭、
古謝美佐子島唄の夕べ、
全国太鼓フェスティバル
組踊「野國總管」、
中国芸能団公演、
大綱引き、
野國總管劇、
琉球舞踊の夕べ、
ロックコンサート、
村芝居フェスティバル、
フォークコンサート、
ナツメロ大会、
カラオケ大会、
歌謡ショー、
嘉手納ふるさと民謡大会、
ラジオ中継番組、

海ジュネー、
野國總管カヌーレース、
野國總管体験ツアー、
野國總管ウォークラリー
3on3バスケットボール大会、
チビ子ショー、
三世代古典の調べ、
子ども舞踊、
群舞、
プラスアンサンプル、
古典音楽大斉唱、
大蛇伝説、
米国ライトカンパニー、
呈茶席、
芋掘り競争、
子どもランド、
その他

野國總管・甘藷博覧会

2005年 10月

野國總管の偉業及び甘藷の持つ健康に対する機能性を広く紹介するため、博覧会を開催する。



写真はイメージです。

甘藷物産市

2005年 10月

甘藷の持つ可能性を広げ、その普及を図るため、町及び県内外から甘藷及びその加工品を取り寄せ、その紹介及び販売を行う。
物産市内で甘藷品評会及び甘藷料理コンテスト等を行う。



4. 会場計画

開催の主旨、目的及び基本方針に基づき、会場は野國總管宮及び兼久海浜公園をメイン会場とし、両会場を楽しく円滑に結びつける交通手段を適切に配置する。駐車場については、町全体及び広域で考え、シャトルバス等を有効に活用するとともにITを活用し携帯電話による駐車場の利用サービスを行う。

メイン会場

野國總管宮会場(嘉手納小、嘉手納中の体育館、グラウンド等含む)
兼久海浜公園会場



関連会場

新町通り、かでな文化センター、スポーツドーム、道の駅かでな、中央公民館

5. プレイベント計画

2004年の野國總管まつりは、野國總管甘諸伝来400年祭のプレイベントとして位置付けし、「甘諸伝来399年野國總管まつり」として行う。従来のもつりにとらわれることなく、2005年につながるまつりとして2004年10月1日(金)～10月3日(日)の日程で実施する。

まつりのイベントは、メインイベントである花火大会、道ジュネー、奉納全沖縄角力大会を中心に実施する。

. 推進計画

1. 運営計画

運営計画の進め方

野國總管甘諸伝来400年祭開催まで次のスケジュールにより、計画作りを進めていく。

2003年度 実施計画の作成

役場内の検討会、企画部会などの議論に基づき、実行委員会において実施計画を決定する。

2004年度 運営マニュアル作成・プレイベント開催

実施計画に基づき、運営マニュアルを作成する。プレイベント開催に向け調整を行い、円滑な運営を図っていく。

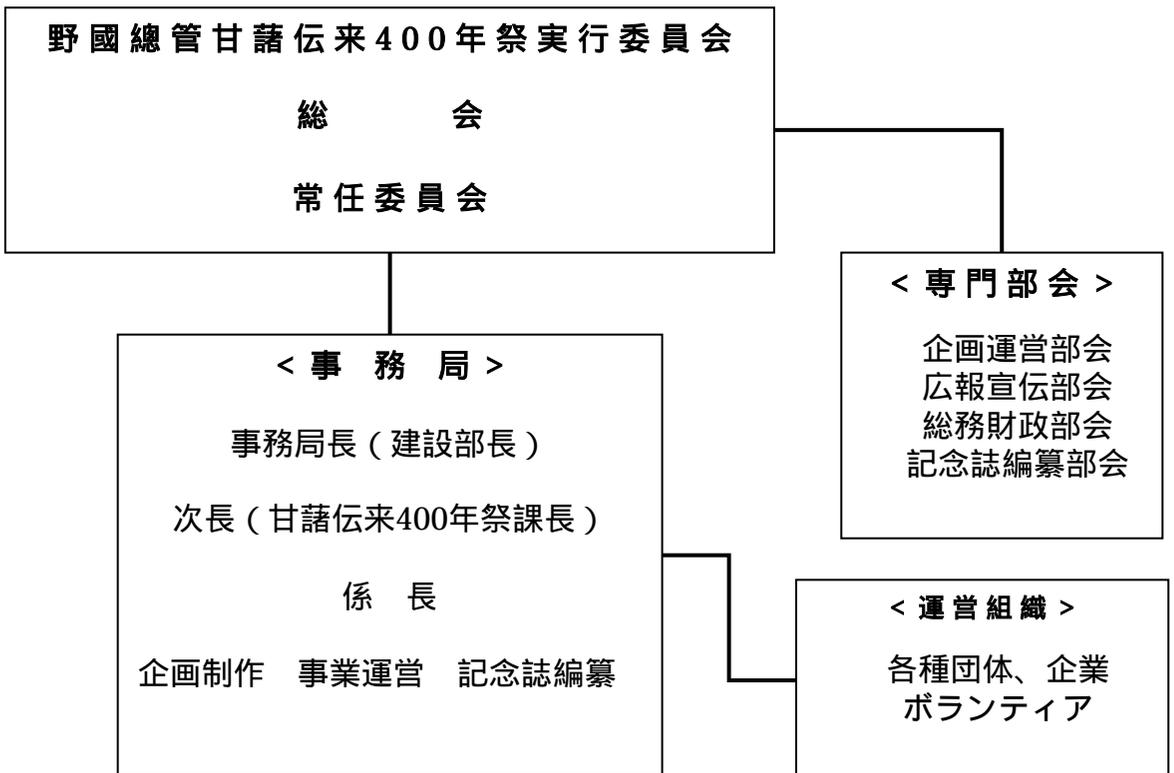
2005年度 本番イベント開催

本番イベント開催に向け、最終調整を行い、円滑な運営を図っていく。

実施に向けたそれぞれの取り組みの詳細の確認を行う。

運営組織

町民全ての協働によるまつりとするとの基本方針に基づき、野國總管甘諸伝来400年祭実行委員会を中心に下記の運営組織でまつりを実施する。



実行委員会

基本理念にそって、実施計画の作成など「野國總管甘藷伝来400年祭」全体を総括する。

常任委員会

実行委員会の委任を受け、事業運営の総括を行う。

専門部会

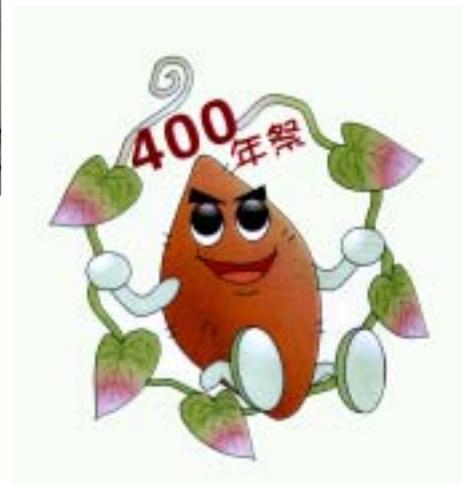
企画運営部会(事業の企画、運営)、広報宣伝部会(広報宣伝、マスコミ対応)、総務財政部会(資金計画)、記念誌編纂部会(記念誌の発行)の各部会において実施計画の専門審議する。

事務局

事業の推進及び総合的な調整を行うとともに、個々の組織を統括する。また、事業の企画制作、事業運営、記念誌編纂の業務を分担して行う。

運営組織

協働で作るまつりとの視点から町内の各種団体及び企業は、実行運営組織及び協力組織としてまつりに積極的に関わる。また、個人を対象としたボランティア組織を結成し、運営に参加する。加えて、町外の団体、企業へも積極的に呼びかけを行う。



2. 広報宣伝計画

基本的な考え方

野國總管甘藷伝来400年祭は、嘉手納町で行われる最大の歴史的イベントであり、まつりの基本理念に基づき、甘藷発祥地・嘉手納を全国に認知させるため、以下を広報宣伝の柱とする。

年度計画に基づき、適切な時期に適切な内容の広報宣伝を行い、2005年のまつり本番に一挙に盛り上がる展開を図る。

町民や団体企業など町内の全ての人が、主体的に協働し作り上げるまつりにするため、地域密着型のきめ細かな広報宣伝を図る。

県内のみならず甘藷に関係する地域や本町と交流のある地域を中心に県外へ積極的に広報宣伝を行う。

国、県、市町村の行政機関や観光関連団体、企業との連携強化を図り、積極的な広報宣伝を行う。

新聞、出版、放送など各種メディアを積極的に活用する。

ホームページを中心にITの積極的な活用を図る。

公募など参加して楽しめる広報宣伝を行う。

広報展開

基本的な考え方にそって、それぞれの年度に適切な広報宣伝を行う。

2003年度

ロゴ、キャラクター、キャッチフレーズ募集など「野國總管甘藷伝来400年祭」を認知させる広報宣伝を行う。

2004年度

プレイベントを中心として、町民とのコミュニケーションをより深め、まつり本番への関心の喚起、醸成を図る広報宣伝を行う。

2005年度

より多くの集客を図るため、2005年を「野國總管甘藷伝来400年祭年」とし、適切な時期に適切なイベントを実施しながら、ポスター、チラシなどのツールによる広報活動や各種メディアの活用など効果的な広報宣伝を実施し、開催の周知徹底と期待感を醸成する広報宣伝を行う。

広報宣伝手法

適切な時期に効果的に次のような広報宣伝を行う。

ホームページの活用

ホームページの持つ広域性、即時性を活かし、有効な広報手段としてITを積極的に活用する。

キャラクター、ロゴ、キャッチフレーズの活用

広報手段として公募によるキャラクターやロゴなどの募集を行うとともに決定した作品については、名刺、封筒、シール、着ぐるみなどに積極的に活用し、広報宣伝を図る。

広告塔の設置

県民や観光客が野國總管甘藷伝来400年祭を意識する第一歩として、主用幹線沿いなど誰でも目にはいる位置に広告塔を設置する。

イメージソングの制作

古謝美佐子、金城実など嘉手納が有する人的資産や嘉手納町マルチメディアセンターなどの施設を活用し、野國總管や甘藷に関係し誰にも楽しめるようなイメージソングを制作、イベントやキャンペーンなどで活用する。

パンフ、ポスターの制作

まつりの開催内容を告知する重要なツールとして、まつりの趣旨、内容を適切に表現するパンフ、ポスターを制作し、活用する。

グッズの制作

事前の広報宣伝用グッズについては、積極的に使ってもらえるようなものを制作し、イベントやキャンペーンに活用する。また、野國總管宮へのインセンティブとなり、まつりの記念として残してもらえるグッズを記念品として制作し、配布する。

(野國總管甘藷伝来400年祭記念酒など)

エコーはがきの発行

野國總管甘藷伝来400年祭を県内外へ広報する手段として、官製ハガキに広告を掲載するエコーはがきを発行する。

キャンペーン隊の派遣

県内外のイベントを中心にキャンペーン隊を派遣する。キャンペーンガールの選出についても検討を行う。

各種メディアの活用

ラジオ、テレビ、新聞、情報誌などの各種メディアを、広告や番組制作、情報提供などで積極的に、効果的に活用する。

企業との連携、協力

企業との連携、協力を積極的に行い、各種メディア活用の際のスポンサーとしての協力、キャラクター等の活用によるまつり関連商品や甘藷加工品など企業タイアップ商品の製作、販売などを行う。

3. 交通・輸送・警備・宿泊計画

交通・輸送計画の基本的考え方

野國總管甘諸伝来400年祭の期間中、メイン会場を中心に多くの参観者や来場者が見こまれる。そのため、多数の参観者や来場者を円滑、かつ安全に誘導するためには、会場配置、イベント日程、来場者動向、周辺の交通状況などを的確に判断し、所轄警察、関係交通機関、会場管理者などとの綿密な事前調整が必要となる。それをもとに、個々のイベントごとに交通・輸送計画を策定していく必要がある。参加者や来場者を円滑に会場まで到着させるためには、便利な交通体系を確立するとともに、それを来場者へ正確かつ迅速に伝える必要があり、告知については十分に配慮し行う。

本県においては、車で来場する人が多く、十分な駐車場の確保とともに駐車場に対する的確な情報の提供が是非必要であり、携帯電話等ITを活用した駐車場情報の提供サービスを行う。

2つのメイン会場を機能的につなぎ、来場者に多彩なイベント内容を十分に堪能していただくため、両会場をつなぐ楽しく便利な交通手段を設ける。加えて、来場者の町内への回遊性と町民の来場の利便性を高めるため、町内循環バスなどの交通手段の充実に努める。



警備・救護計画の基本的考え方

イベント期間中の来場者に対し、より安全で快適な環境を整えるため、各イベント会場ごとの警備・救護計画を策定する。

警備計画の策定に当たっては、地震・火災などの不測の事態やイベント実施時の混乱等による万一の事故発生に備えて、来場者の安全を図ることを目的とし、警察署や消防署等の関係機関と協議のうえ作成する。

警備員は、専門業者の他、役場職員、ボランティア等が担当し、警察署や消防署の指導、協力をえながら、来場者に不快感を与えないよう配慮のうえ、事故、混乱が発生しないように万全の体制で警備に当る。

救護計画の策定、実施にあたっては、医療機関の関係者の協力に基づき万全の配置を行う。

宿泊計画の基本的考え方

県内外から多くの人々が訪れることを見越して、十分な宿泊施設の確保が必要となる。本町を中心に近隣の宿泊施設をリストアップし、まつりへの協力依頼を行う。また、旅行代理店との連携による観光ツアーや宿泊パックの企画を行い集客に当る

4. 財政資金計画

地方財政が極めて厳しい状況において、収入については、町からの補助金を中心とするが各種補助金、事業収益、寄付金などあらゆる収入につながる手段を講じ資金の調達に当る。支出についても、無駄な支出を排除するとともに費用対効果にも充分配慮のうえ事業の実施にあたる。

資金調達方法は次のものが考えられる

町補助金 ・ 町が実行委員会に支出する負担金

協賛金 ・ まつりの主旨に賛同する企業及び個人からの協賛金

寄付金 ・ まつりに対する企業及び個人からの寄付金

補助金等 ・ 国、県や各種機関からの補助金

事業収入 ・ まつりの各種事業に伴う収入

出店料 ・ まつりへの出店に伴う収入

参加費 ・ まつりへの参加費

広告料 ・ まつりへの広告による収入

その他 ・ 預金利息などの収入

5. 主要事業スケジュール

- 子供向けの副読本発刊 2004年4月
- 甘藷伝来399年野國總管まつり 2004年10月1日～3日
- 新春カウントダウン 2005年1月1日(土)
- 2005年おきなわマラソン協賛 2005年2月下旬
- 100日前イベント 2005年6月22日(水)
- 野國總管甘藷伝来400年祭フォーラム 2005年8月初旬
- 野國總管例祭 2005年9月30日(金)
- 野國總管甘藷伝来400年祭 2005年9月30日～10月2日

	会場 / 時間	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
9月30日	野國總管宮					例祭 式典					イベント		
金曜日	兼久海浜公園										イベント		
10月1日	野國總管宮	イベント								イベント			
土曜日	兼久海浜公園	イベント								イベント			
10月2日	野國總管宮	イベント								イベント			
日曜日	兼久海浜公園	イベント								イベント			



・ 参 考 資 料

< サブイベントの事例 >

奉納伝統芸能祭

町及び県内外から一流の伝統芸能を招聘し、奉納伝統芸能祭として上演する。

古謝美佐子島唄の夕べ

嘉手納が誇るウタシャ古謝美佐子と島唄の夕べを行う。

全国太鼓フェスティバル

町及び県内外から太鼓集団を招聘しフェスティバルを開催する。

組踊「野國總管」

中高生による歌あり踊りありの現代板組踊「野國總管」を上演する。実施にあたっては、組踊「肝高の阿麻和利」を制作し、阿麻和利ロマンの会を推進役として、文化の創造のみならず産業の創造が行われつつある勝連町の関係者の協力の基に行う。その機運を醸成するため、2004年の野國總管まつりにおいて、嘉手納町字屋良にゆかりのある組踊「肝高の阿麻和利」を里帰り公演として行う。

中国芸能団公演

甘藷が中国から伝播したことを記念し、中国から芸能団を招聘し公演を行う。

野國總管劇

野國總管の偉業を紹介するウチナー言葉による劇を上演する。

奉納琉球舞踊の夕べ

古謝弘子など、琉球舞踊の優れた踊り手による奉納舞踊を行う。

村芝居フェスティバル

沖縄の各地に伝わる村芝居を上演し、その復活と継承を図る。

嘉手納ふるさと民謡大会

町内外に広く呼びかけ、嘉手納に関する民謡のコンテストを行う。



ロックコンサート

嘉手納にゆかりのあるアコースティックMやかっちゃんなどのミュージシャンを中心にオキナワロックのコンサートを行う。

フォークコンサート

県内のプロ、アマによるフォークソングのコンサートを行う。

ナツメロ大会

県内に広く呼びかけナツメロの大会を行う。

カラオケ大会

県内に広く呼びかけカラオケ大会を行う。

歌謡ショー

著名な歌手による歌謡ショーを行う。

海ジュネー

船を飾り付け、漁港から兼久海浜公園まで海上パレードを行う。

車両パレード

車両を飾り付け、中部地区を中心に車両パレードを行う。

大綱引き

参加型のイベントとして、新町通りにおいて大綱引きを行う。 * 綱の確保が課題

野國總管カヌーレース

兼久海浜公園から野國總管のお墓、野國總管宮を經由する、カヌーレースを行う。

野國總管ツアー

船及び馬車などにより兼久海浜公園から野國總管のお墓、野國總管宮を巡るツアーを実施する。案内はガイドを付け野國總管や町の歴史などを紹介する。



ラジオ及びテレビ中継番組

ラジオ及びテレビの中継番組を誘致し、実施する。

野國總管ウォークラリー

兼久海浜公園を出発地点に野國總管宮を經由するコースで、ウォークラリーを実施する。

3 on 3 バスケットボール大会

町内外に広く呼びかけ3on3バスケットボール大会を行う。

チビっ子ショー

幼稚園の園児による演技。

三世代古典の調べ

子ども、親、祖父母の三世代による琉球古典音楽の演奏。

子ども舞踊

子ども達による舞踊。

群 舞

婦人会や老人会などを中心とした集団の舞。

ブラスアンサンブル

ブラスレモンを中心とした吹奏楽の演奏。

古典音楽大斉唱

琉球古典音楽の大斉唱。

大蛇伝説

連合青年会による大蛇の舞。

米国ライトカンパニー

米軍基地内の人達によるショー

芋掘り競争

子ども達による芋掘り競争

呈茶席

町内のお茶の団体による呈茶席

子どもランド

動物や映画など子ども向けのコーナー

その他

